

## 第30回 海外子女教育セミナー

「海外子女教育の新展開と派遣教員の役割」

■日時:平成21年5月16日(土) 10:00~16:45

■会場:東京学芸大学合同棟1階大教室

■対象:在外教育施設派遣教員登録者、これから在外教育施設に派遣を希望する教員、及び海外子女教育に関心をもつ方

■主催:東京学芸大学国際教育センター

### ■プログラム

総合司会:吉谷 武志(東京学芸大学国際教育センター教授)

9:30 開場、受付開始

10:00~10:10 開会のあいさつ

加藤祐司(東京学芸大学国際教育センター長挨拶)

日程説明

10:10~11:00 講演「在外教育施設における派遣教員の役割」

大森 摂生(文部科学省初等中等教育局国際教育課長)

11:05~11:50 講義「海外子女教育の新展開ー在外教育施設における授業づくりー」

佐藤郡衛(東京学芸大学国際教育センター教授)

11:50~13:00 昼食

13:00~15:00 帰国教員による在外教育施設における実践報告

大淵栄一(前ロンドン日本人学校教諭・佐賀大学文化教育学部附属特別支援学校教諭)

泉 純子(前アグアスカリエンテス日本人学校教諭・広島県広島市立尾長小学校教諭)

清水 聡(前上海日本人学校虹橋校校長・宮崎県三股町立三股西小学校校長)

森 宏介(前シンガポール補習授業校校長・福岡県福岡市立金武小学校教頭)

15:00~15:15 休憩

15:15~16:45 分科会(日本人学校と補習授業校の2グループに分かれて)

(1)日本人学校分科会

ファシリテータ:滝 多賀雄(全国・海外子女教育・国際理解教育・研究協議会副会長)

進行:見世千賀子(東京学芸大学国際教育センター講師)

:榊原 知美(東京学芸大学国際教育センター講師)

(2)補習授業校分科会

ファシリテータ:生野 康一(全国・海外子女教育・国際理解教育・研究協議会会長)

進行:吉谷 武志(東京学芸大学国際教育センター教授)

16:45 閉会

## 平成21年度 第1回 JSL 研修

JSL を生かした外国人児童生徒教育指導者研修

当センターでは、昨年に引き続き、平成21年度 JSL 研修会を下記の要領で開催します。

日本語指導、学習指導の充実、JSL の活用、構内支援体制の構築等、外国人児童生徒等の受け入れと教育の充実のために必要な知識と実践について研修を実施します。奮ってご参加下さい。第1回の研修は下記のとおりです。

詳細は随時ホームページに掲載します。

■日時:2009年7月4日(土) 10:00~17:00

■場所:東京学芸大学(小金井キャンパス)S棟1階

■定員:60名

■費用:無料

■プログラム

全体進行:吉谷 武志氏(国際教育センター)

【講義1】全体講義「外国人児童生徒教育の課題」佐藤郡衛氏(国際教育センター)

【講義2】全体会議「JSL のねらいと外国人児童生徒教育」齋藤ひろみ氏(東京学芸大学)

【講義3】経験年数別講義

「日本語教室とJSL 指導」

(講義3-1)

A 分科会(担当初年度、2年度向け)

「外国人児童生徒教育事始め」

野口恵美子氏(新宿区立大久保小学校)

(講義3-2)

B 分科会(担当3年以上、及び管理職向け)

「日本語教室づくりと学校における日本語指導・日本語教室の役割」

近田由紀子氏(浜松市立瑞穂小学校)

【日本語指導経験年数別 実践 WS1】

「日本語指導、JSL 指導を生かすために」

A 分科会「日本語教室初任者の課題と役割」

野口恵美子氏(新宿区立大久保小学校)

濱村久美氏(新宿区立大久保小学校)

小幡尚美氏(北区稻付中学校)

B 分科会「JSL 指導者と日本語教室の効率的な運営を目指して」

近田由紀子氏(浜松市立瑞穂小学校)

今澤 悌氏(甲府市新田小学校)

赤羽寿夫氏(東京学芸大学附属国際中等教育学校)

小川郁子氏(江戸川区立葛西中学校)

【日本語指導経験年数別・学校種別 実践 WS2】

「授業実践から学ぶ日本語教室とJSL」

A 分科会(初任者班)

B 分科会(小学校班)

B 分科会(中学校班)

## 第10回 外国人児童生徒教育フォーラム

外国につながる生徒の進路選択とその支援をめぐる

国際教育センターでは「外国人児童生徒教育フォーラム」を毎年開催しています。今年度は、10月3日(土)に下記の要領で開催します。今回のテーマは、「外国につながる生徒の進路選択とその支援をめぐって」です。この内容についてはこのフォーラムでも2007年に取り上げました。「外国人児童生徒教育における進路指導」というテーマでしたが、特に中学生段階の進路指導が中心でした。今回は、外国につながる生徒の多様化、滞在の長期化といった現状を踏まえ、中学生だけでなく高校生も視野に入れ、どのようにして進路に関する意識を作り上げていくのか(あるいは作り上げられないのか)、実際の進路選択はどのようにしてなされているのかといった現状について明らかにできればいいと思っています。

実際には、外国につながる生徒の進路意識については「夢」(例えば、日系ブラジル人の場合、ブラジルに帰国して医者になりたい、弁護士になりたいという等)とそれを達成する方法が大きく乖離し、実現不可能な「夢」をおい続けるといった問題があるように思います。また、選択の幅が狭い、将来を見据えた選択ができないといった問題も抱えています。

そこで、外国につながる生徒の進路意識はどのような特徴をもっているか、さらにはどのような進路選択をしているか(強いられているか)といった現状を把握することを出発点にして、ではどのような支援が必要か、あるいは可能かについて議論を深めていければと考えています。

■ 日時 : 2009年10月3日(土)

■ 場所 : 中野サンプラザ

(〒164-8512 東京都中野区中野4-1-1 TEL 03-3388-1151)

最寄駅 JR中央・総武線/東京メトロ東西線「中野」駅 北口より徒歩1分

■ 定員 : 90名

\* 詳細は追って更新いたします

プログラム

9:30~9:40 開会の辞 加藤祐司(国際教育センター長)

9:40~10:00 趣旨説明 佐藤郡衛(国際教育センター・教授)

10:00~10:30 報告1 吉谷武志(国際教育センター・教授)

「進路選択のためのガイダンスの取り組みー福岡の事例から」

10:30~11:00 報告2 松本靖史(神奈川県教育委員会・指導主事)

「進路の実態とその支援をめぐってー神奈川県の事例から」

11:00~11:30 報告3 角田仁(都立小山台高校定時制・教諭)

「多様化する生徒の進路選択ー一定時制高校の事例から」

11:30~12:00 報告4 拝野寿美子(神田外語大学・非常勤講師)

「生徒の進路意識と進路選択の課題ー事例をもとに」

12:00~13:15 昼食

13:15~13:45 発題に対するコメント 佐久間孝正(前立教大学・教授)

13:45~16:45 パネルディスカッション(この間15分ほど休憩をとる)

吉谷武志(国際教育センター・教授)

松本靖史(神奈川県教育委員会・指導主事)

角田仁(都立小山台高校・教諭)

拝野寿美子(神田外語大学・非常勤講師)

佐久間孝正(前立教大学・教授)

平成21年度 第2回 JSL 研修

## JSL を生かした外国人児童生徒教育指導者研修

ー学校と日本語教育での指導の実際からー

当センターでは、昨年に引き続き、JSL 研修会を開催しております。

日本語指導、学習指導の充実、JSL の活用、校内支援体制の構築等、外国人児童生徒等の受け入れと教育の充実のために必要な知識と実践について 研修を実施します。

第2回の研修は、第1回の研修を受けて、外国人児童生徒教育及び JSL の活用の実際、参加者の児童生徒指導の振り返りとブラッシュ・アップを図ります。

第1回からの継続としての参加だけでなく、第2回だけの参加も可能です。

詳細は、今後、こちらのホームページにてご案内いたしますので、奮ってご参加下さい。

■日時:2009年11月29日(日) 9:30~17:00(受付開始 9:00)

■場所:東京学芸大学(小金井キャンパス)S棟3階(正門からお入りください。)

■プログラム(以下、敬称略)

全体進行:吉谷 武志(国際教育センター)

～午前の部～

9:30~9:55 開会 挨拶 加藤祐司(東京学芸大学国際教育センター長)

趣旨説明 吉谷武志(東京学芸大学国際教育センター)

9:55~10:45 【講義1】全体講義「外国人児童生徒教育の課題と JSL の活用」佐藤郡衛(国際教育センター)

11:00~12:00 【講義2】経験年数別講義「学校・日本語教室と J 外国人児童生徒、SL 指導」

■講義 2-1(担当初年度、2 年度向け)

「初心者のための外国人児童生徒教育」

近田由紀子(浜松市瑞穂小学校) ■講義 2-2(担当3年以上、及び管理職向け)

「日本語教室と学校づくりー日本語教室のある学校ー」

長岡富美子(新宿区立愛日小学校)

12:00~13:00 昼食休憩

～午後の部～

13:00~15:30

1. 実践 WS(経験年数別・学校種別)「授業実践から学ぶ日本語教室と JSL」

■A 分科会(初任者向け)

A-1(小学校班)

今澤悌(甲府市立新田小学校)

A-2(小学校班)

高橋理恵(豊島区立池袋小学校)

A-3(小学校班)

菊池聡(横浜市立いちょう小学校)

A-4(小学校班)

黒須陽子(宇都宮市立清原東小学校)

A-5(中学校班)

郡司英美(宇都宮市立初期日本語指導教室・清原教室)

A-6(中学校班)

小幡尚美(北区立稲付中学校)

■B 分科会(担当3年以上、及び管理職向け)

B-1(小学校班)

近田由紀子(浜松市立瑞穂小学校)

B-2(小学校班)

濱村久美(新宿区立大久保小学校)

B-3(中学校班)

赤羽寿夫(附属国際中等教育学校)

B-4(中学校班)

小川郁子(江戸川区立葛西中学校)

15:45～16:45

2. 実践 WS 全体会「総括質疑:明日からの日本語指導とJSLのために」

16:45～17:00 閉会

17:10～17:40

講師の方との意見交換会(国際教育センター4F 会議室)

## 第1回 多文化共生フォーラム

「教員養成大学における多文化共生への取り組みの現状と課題—外国につながる子どもの教育を中心に—」

国際教育センターでは、第1回「多文化共生フォーラム」を平成22年1月30日(土)に下記の要領で開催します。

今回のテーマは、「教員養成大学における多文化共生の教育への取り組みの現状と課題—外国につながる子どもの教育を中心に」です。日本の学校は、多国籍化・多民族化・多文化化が急速に進行しつつあります。特に、外国人の子どもの増加とともに、日本語教育をはじめ、多文化共生の取り組みを行っています。こうした状況の中で、教員養成大学もそれぞれの地域で多様な取り組みを展開してきました。今回は、これまでの教員養成大学における外国につながる子どもの教育への取り組みの現状について報告いただき、今後、どのように進めたらよいかについて参加者ともども考えていきたいと思っています。

フォーラムの前半は、静岡大学教職大学院准教授の矢崎満夫氏、京都教育大学准教授の浜田麻里氏、宮城教育大学准教授の市瀬智紀氏の3人から、各大学での取り組み(講義での取り上げ方や大学としての取り組みの実践例)、さらに各個人の取り組みなどについて発題していただきます。後半は、各発題を踏まえ、東京学芸大学国際教育センター教授の吉谷武志氏が加わり、パネルディスカッションを行い、教員養成大学における多文化共生の教育の今後のあり方などについて議論をしていきます。

多くの方の参加をお待ちしています。

■日時:2010年1月30日(土) 13:00開会

■場所:東京学芸大学南講義棟(S棟)S303教室

■プログラム

13:00～13:10 開会の辞 加藤祐司(東京学芸大学国際教育センター長)

13:10～13:30 趣旨説明 佐藤郡衛(東京学芸大学国際教育センター・教授)

13:30～14:00

「静岡大学の取り組みから

—さまざまな「つながり」の創出をめざして」 矢崎満夫(静岡大学教職大学院准教授)

14:00～14:30 「京都教育大学の取り組みから —外国人少数点在地域に求められる教員養成」

浜田麻里(京都教育大学准教授)

14:30～15:00

「宮城教育大学の取り組みから ―多文化共生の地域づくりと教員養成」

市瀬智紀(宮城教育大学准教授)

15:00～15:15 休憩

15:15～16:45 パネルディスカッション

「教員養成大学における多文化共生の取り組みをめぐって」

コーディネーター 佐藤郡衛

パネリスト 吉谷武志

矢崎満夫

浜田麻里

市瀬智紀

16:45～17:00 まとめと閉会

## 第2回「つなぐ」シンポジウム

多文化社会における学び・自立・参加 ～つなぐ人とその役割 ―教室、家庭、地域から―

「つなぐ」シンポジウムでは、多文化社会への移行をみすえて、今後の日本の教育(学校教育、地域でのコミュニティづくり、人づくり、地域づくり)や地域社会が果たすべき役割を考えます。

第2回となる今回は、「つなぐ人」(多文化社会コーディネーター)の実践とその役割について、ワークショップ形式で皆さまと一緒に考えていきたいと思います。ふるってご参加ください。

■日時:2010年2月13日(土) 13:00～17:00

■場所:東京外国語大学 府中キャンパス 研究講義棟1階 113教室

■主催:東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター  
東京学芸大学 国際教育センター

■プログラム

内容:多文化社会におけるコーディネーターの実践とその役割

【話題提供】つなぐ人とその役割―教室、家庭、地域から―

(1)学校と地域をつなぐ NPO の実践―保見団地の活動を事例に

深見麻衣(愛知県豊田市教育委員会学校教育課通訳)

(2)児童相談所から多文化家族の支援を考える―ソーシャルワークの視点から

田中良幸(東京都杉並区児童相談所児童福祉司)

(3)教員と地域をつなぐ国際交流協会の実践

幕田順子(財)福島県国際交流協会主査)

【グループワーク】

## SL を生かした外国人児童生徒教育指導者セミナー・イン福岡

増え続ける外国人児童生徒への指導は、日本語初期指導から JSL による教科学習への移行、受け入れのための学校組織の整備、さらに地域における支援体制の構築に至るまで、多くの新しい知見を必要とするものである。しかしながら、学校現場は未だこの新しい課題に手探りで取り組まねばならない状況にある。

本セミナーは、従来、東京学芸大学で実施してきた「JSL 日本語教育指導者セミナー」を各地で開催し、外国人児童生徒指導者(担当者)と学校、行政関係者のスキルアップを図るものである。

■日時:2010年2月27日(土) 10:00~17:00(受付開始 9:30)

■場所:福岡市立博多小学校 (〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町1番38号)

\*会場校への問い合わせ、連絡はご遠慮下さい。

■定員:100名(但し、終日参加70名、午後の部のみ参加30名)

■参加費:無料

■主催:国立大学法人東京学芸大学 国際教育センター

■後援:福岡市教育委員会

■プログラム

9:30 受付

10:00 開会

【午前の部 講義】

10:15 外国人児童生徒教育の課題 吉谷武志(国際教育センター)

11:15 外国人児童生徒の学力向上と日本語指導・JSL 佐藤郡衛(国際教育センター)

【午後の部 実践事例・交流】

●日本語指導の実際(授業紹介)

13:30 日本語初期指導の実際(授業紹介)

13:50 日本語教室での指導の実際(授業紹介)

14:10 質疑

14:30 休憩

●経験・職種別、コース研修

\*コース別に各自(参加者)の持ち寄った経験をもとに研修を行います。

14:45 Aコース(日本語指導初任者、経験3年以内の方対象)

日本語指導を効果的に進めるための授業の工夫(班別交流会)

Bコース(管理職、日本語指導経験4年以上の方対象)

日本語指導を踏まえた授業づくり、学校組織づくり(班別交流会)

16:15 全体会

16:45 閉会式

## 第3回 国際教育センターフォーラム

「日本における市民性の教育の可能性と課題」

国際教育センターでは、第3回「国際教育センターフォーラム」を2010年3月6日(土)に下記の要領で開催いたします。今回のフォーラムでは、これからセンターで共同研究プロジェクトとして取り組んでいこうとする課題について、外部の講師の方をおよびして様々な視点からご発題頂き、参加者の皆様とともに今後の研究の方向性についてディスカッションさせていただくことを目的としています。テーマは、「日本における市民性の教育の可能性と課題」です。多文化化の進行する日本社会において、「共生」という課題を可能にする市民性の育成を教育においてどう進めていけばよいか、議論したいと思えます。

フォーラムの前半は、大阪大学大学院教授の平沢安政先生に、人権教育の観点からご講演をいただきます。後半は、「多文化社会における市民性の教育に求められるもの」と題してパネルディスカッションを行います。甲南女子大学准教授の野崎志帆先生よりイギリスの市民性教育の取り組みから、立教大学大学院研究生の高橋舞先生より共生教育の視点から、それぞれご発題いただきます。それらを踏まえ

て、多文化化の進行する日本社会における今後の市民性の教育のあり方や研究の方向性などについて、参加者の皆様と共に考えてみたいと思います。教育実践に取り組まれている方、研究者の方、あるいはこうした問題に関心をお持ちの学生の方や一般の方もぜひご参加ください。

■主催:東京学芸大学 国際教育センター

■日時:2010年3月6日(土)13:20~16:30(受付13:00~)

■会場:中野サンプラザ 8階 研修室2

(〒164-8512 東京都中野区中野4-1-1 TEL 03-3388-1151)

最寄駅 JR中央線・総武線/東京メトロ東西線「中野」駅 北口より徒歩1分)

■定員:90名

#### プログラム

13:20~13:30 開会のご挨拶 加藤 祐司(東京学芸大学国際教育センター長)

フォーラム趣旨 見世千賀子(東京学芸大学国際教育センター講師)

総司会 榎原 知美(東京学芸大学国際教育センター講師)

13:30~14:30 講演「人権教育の視点からみた市民性教育の可能性と課題」

平沢 安政(大阪大学教授)

14:30~14:40 休憩

14:40~16:25 パネルディスカッション「多文化社会における市民性の教育に求められるもの」

パネルディスカッション趣旨 見世千賀子(東京学芸大学国際教育センター講師)

#### 報告

「イギリスの市民性教育に見る人権教育」 野崎 志帆(甲南女子大学准教授)

「いま必要な共生教育とは—多様な他者たちとの共生を可能にする作法」

高橋 舞(立教大学大学院研究生)

#### 討論

【コーディネーター】見世 千賀子

【パネリスト】平沢 安政、野崎 志帆、高橋 舞

16:25~16:30 閉会

\*プログラムの内容は変更となることがあります。